



県民ひろば



笑顔溢れる地域を創る

県民クラブ 守永 信幸 (大分市)



2022年第4
回定例県議会の開
会日に、議員提出
議案として「北朝
鮮によるミサイル
の発射に抗議する
決議」の採択が行われました。北朝鮮は、
今年に入り立て続けに弾道ミサイルを発
射、特に10月4日に発射した弾道ミサイ
ルは、日本の上空を通過し、太平洋上に
落下したとのことで、国民に恐怖を感じ
させるものであります。

日米韓の共同訓練などに刺激されての
行動と考えれば、日本の対処の在り方
については更に議論を深めなければなら
ないと感じます。日本国憲法には、その前
文の中で「日本国民は、恒久の平和を念
願し、人間相互の関係を支配する崇高な
理想を深く自覚し、平和を愛する諸国民
の公正と信義に信頼して、われらの安全
と生存を保持しようと決意した」と記述
しています。その思いを私たち国民が共
有し、アジア地域で、また全世界で連帯
して真の平和を築く努力をしなければな
りません。県民クラブとしても平和への思
いを込めて、決議文に賛成をしました。

今議会での主な議題は、議会閉会中に
決算特別委員会で審議された前年度決算
の承認と新型コロナウイルス禍が終息しない中
での感染対策や経済対策としての地域経済
再生への呼び水の事業や物価高騰対策、
経営継続を支援する融資対策などの補正

予算などの審議でした。

急場をしのご対策を講じる一方で、人
口減少が進む中、地域経済の好循環を保
持するために、様々な企業を大分県に招
き入れたり、起業を促すなどして、若者
が大分県に定着できる雇用場の創ること
が求められています。若者が外へ出て
行き、高齢者だけが残る集落は、年を経
るに従って徐々に人口が減少し、今では
地域コミュニティが維持できない限界集落
となりつつあります。県下全域の限界集
落に元気を持ち込む対策が講じられてい
かなければなりません。

広瀬知事も人口ビジョンを踏まえ、様々
な対策を講じてきましたが、現時点で人
口減少に歯止めをかける段階まで至って
はいません。また、高齢者が増大するこ
とで増える社会保障費などの低減に向け
て、健康寿命の延伸等にも取り組んでい
ます。広瀬知事は今限りでの勇退を決
意されていますが、これまでの県政を振
り返って、今後の大分県に必要な施策に
ついて、今こそしっかりと幹部職員を始
めとする全職員と議論を深めるべきだと
感じます。県民のために大切にしなければ
ならないことを職員がしっかりと受け
継ぎ、次のリーダーの下で、その思いを
共有し、能力を発揮できる体制を創るこ
とが、県政を20年間牽引してきたリーダー
としての締めくくりであるべきです。